

3月9日 株式会社ヴィネット(深川) 地域の新たな拠点として

市と(株)ヴィネットが地域社会発展のための包括的連携協定を締結しました。IT企業の同社は深川にある古民家を改装し、カフェのほか、テレワークや宿泊ができる「菊池みらいベース」をオープン。敷地内にはサウナも併設されています。



村嶋亮一代表(左)は「既成概念にとらわれず、斬新な発想を形にしていきたいながら地域の新たな拠点として育っていききたい」と話しました

3月13日 親水公園整備期成会 旭志のホタルの育成方法を学ぶ

高森町の住民グループ「親水公園整備期成会」が、県内有数のホタルの里で知られる旭志地区を訪れ、稲葉一義さん(高柳)から育成方法を学びました。同会は公園の再整備を機に園内の水路にホタルを飛ばそうと計画しています。



親水公園整備期成会のメンバーに地域の取り組みやホタルの生態を語る稲葉さん(左)

3月14日 坂本博さん・榮子さん夫婦(高野瀬) 箱庭で菊池の原風景を再現

隈府の商店街では、昭和40年代頃まで子どもたちが中心となって、草や木などの自然の材料で箱庭を作っていました。当時を知る坂本さん夫婦が、6年前から毎年テーマを決めて自宅や店舗などで箱庭を制作し、一般公開しています。



博さんは「住民の力で古里を盛り上げたい。多くの人たちに来てほしいです」と話しました。公開期間:5月末まで。(金)出(日)朝 午前10時~午後3時 ところ:坂本さん宅(隈府1604-4)

3月9日 崇城大学 学生サークル「機巧研究会」 能場の開閉作業に役立てて

崇城大学の学生が、菊池松嶺子能場の開閉補助機を提案。開閉には大変な労力がかかり、安全面にも懸念がありました。提案された補助機は移動式で、県指定文化財の能場に手を加えることなく開閉できる工夫がされています。



今後は市や各種団体と協議しながら、試作品の製作や実験を重ね、実用に向けて検討していく予定です

3月11日 泗水西小学校「友情の森フェスティバル」 地域の皆さんと6年生に感謝を込めて

お世話になっている皆さんに感謝を伝える「友情の森フェスティバル」が泗水西小で開催されました。地域おこし協力隊・平松あすか隊員の協力の下、オリジナル弁当の販売や森の図書館・美術館など、児童自ら企画し準備を進めてきました。



地域の人に感謝を伝える児童。ステージでは菊池農業高校生による豊稷太鼓に合わせ、菊池高校生が書道パフォーマンスを披露しました

3月14日 花房小学校 6年生が校庭に卒業記念植樹

卒業を迎える6年生8人が6年間の感謝の気持ちを込めて、校庭の花壇にアジサイを植樹しました。校区内在住の佐々木章さん(広瀬)が母校に愛着を持ってほしいと発案。今年で4年目で卒業生たちは毎年、地域への思いを強めています。



児童たちは、佐々木さん(後列左)の自宅で2年間かけて育てた苗木8本を丁寧に植え、優しく土をかけて成長を願いました

2月23日 菊池北小学校 緑の少年団 生徒手製の木炭を被災地へ提供

菊池北小「緑の少年団」の団員たちが、龍門地区の炭焼き組合と焼いた炭を令和2年7月豪雨で被災した八代市の坂本住民自治協議会に届けました。提供した炭で焼かれたアユの塩焼きが仮設住宅の皆さんに振る舞われる予定です。



岩永啓志団長(前列中央)は「みんなで作った炭で焼いたアユを食べ、被災地の人が元気になったらうれしいです」と話しました

3月5日 音楽スタジオMIKA 菊池でクラシックを身近に

市内在住演奏家2人による「ソプラノ・ピアノコンサート」が音楽スタジオMIKA(南山手)で行われました。クラシックの音楽とともに、演奏曲目や声楽・ピアノに関する情報を演奏者自ら解説。観客はプロの演奏を目の前で楽しみました。



主催した宮本恵理さん(左)と大塚絵里さん(右)は「これから菊池で音楽の楽しさを伝えていきたいです」と話しました

3月9日 つなぐ棚田遺産 ふるさとの誇りを未来へ

熊本大学のボランティアサークル「D-SEVEN」が農林水産省の「「つなぐ棚田遺産」感謝状」の「クリエイティブ部門」に選ばれ、中央公民館で贈呈式が行われました。同サークルの菊池佐野区での農業支援活動が評価されました。



同サークルは、菊池佐野区で月2~3回、コマヤクリの栽培・収穫作業などの農業ボランティアを行っています

2月22日 こくみん共済coop 「7才の交通安全マップ」を寄贈

寄贈されたマップは小学1年生向けの教材として、こくみん共済coopと金沢大学が共同で開発。間違い探し形式で楽しく交通安全ルールを学ぶことができます。今後、市内の小学校で交通安全教育に活用していきます。



マップを受け取った音光寺以章教育長(左から2番目)は「交通安全教育にとっても効果的で大変ありがたいです」と感謝を述べました

2月27日 玉祥寺このみやおどり 560年以上の歴史を絶やさず継承

玉祥寺区の春日神社で、女装した男性が踊る民俗芸能「玉祥寺このみやおどり」が奉納されました。同神社は菊池一族の20代菊池為邦公の時代(1446~1488)に建立され、このみやおどりは同じ頃に始められたといわれています。



踊り手は、どてら・編み笠・頭陀袋を身に付け、背中に杵を背負った2人の御大将が見守る前で、太鼓を叩きながら舞います

3月7日 熊本県トラック協会菊池支部 新小学1年生へ交通安全用品を贈呈

(公財)熊本県トラック協会菊池支部が、今年4月に菊池郡市の小学校へ入学する児童を対象に交通安全用品として交通安全文具約2,100セットを贈呈。同会が児童の安全な通学を願って毎年行っており、今年で14回目です。



藤木徳昭支部長(左から2番目)は「新1年生が明るい学校生活を送れるよう願っています」とあいさつしました